

令和7年9月1日

それぞれの思い



校長 松島 啓泰

7月19日から44日間の夏休みが終わり、学校が始まりました。長いようであつという間の44日間だったと思います。有意義に過ごすことができましたか？何か目標を持って過ごすことができましたか？

夏休みに入る前に生徒会主催の生徒集会で、会長から次のような話がありました。

「先日、1年生から3年生の学評を集め、4月からこれまでの学級の様子について、みんなで振り返りました。そこでは、生徒同士の呼びかけの数が増え、互いに助け合える場面が多くなったなど、学級の仲が深まるとともに、団結力が高まっている姿が伺えました。このように成長している点がある一方で、授業中の私語が多かったり、休み時間に廊下や教室で騒いでいたり、相手が不快に思うような言葉が飛び交うなど、仲間とともに生活する上で、配慮に欠けた行動もあることがわかりました。私たち生徒会でも、なるべくみなさんの意見を学校に反映させたいという思いで設置していた目安箱にいたずらをされたことがあり、このような思いやりに欠けた行動に、非常に残念な気持ちになりました。そこで、みなさんに聞きたいことがあります。

①みなさんは日頃、周りの人の気持ちを考えて行動できていますか？

②みなさんが理想とする学校とは、どんな姿ですか？

私は、それぞれの個性を尊重し、互いに思いやりを持って接することができる学校にしていきたいと思っています。八木が谷中学校には、学校をより良くしていこうと頑張ってくれている、学評をはじめとした頼もしいリーダーたちがたくさんいます。ですが、彼らの力だけでは決して良い学校を作ることができません。みなさんが通っているこの八木が谷中学校は、私たち生徒がみんなで力を合わせて少しずつ作り上げていくものです。自分も、周りの人も『過ごしやすい』『居心地が良い』と感ずることができるよう、思いやりの心を持って過ごしていきましょう。そのようにしていけば、きっとこれまでよりも良い学校が作れるはずです。互いの頑張りを認め合い、みんなが『楽しい』と思える学校作りを、私たち全員でしていきましょう。」

みなさんの行動に期待します。